

県央・湘南の 環境と共生する都市づくり



No.37

NEWS ○ 2014.3

● 新幹線新駅の実現をめざす、環境共生の都市づくり通信 ●

新幹線新駅・リニア・相模線共催講演会を開催しました

P2

県央・湘南都市圏における「環境共生都市づくり事業」を認証しました

P3~4

平成25年度「夢はこぶ新幹線・私たちの未来のまち」絵画コンクール

P5

ツインシティの魅力あるまちづくりに取り組んでいます

P6

平成25年度「夢はこぶ新幹線・私たちの未来のまち」絵画コンクール 神奈川県知事賞受賞作品



低学年の部 横山 和さん (平塚市立吉沢小学校 2年)



中学年の部 横山 太祐さん (平塚市立吉沢小学校 4年)



高学年の部 倉田 若菜さん (平塚市立港小学校 6年)



神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会

神奈川県、相模原市、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、厚木市、伊勢原市、海老名市、座間市、綾瀬市、寒川町、県市長会、県町村会、県商工会議所連合会、県商工会連合会

新幹線新駅・リニア・相模線同盟会共催講演会を開催しました

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会は、県央・湘南地域の鉄道ネットワークの整備に向けて、リニア中央新幹線建設促進神奈川県期成同盟会・相模線複線化等促進期成同盟会と共催で、「近未来の広域的交通ネットワークの姿と神奈川県域の地域ポテンシャル」をテーマとして講演会を開催しましたので、概要をご紹介します。

- 日 時 平成26年1月17日（金） 13：30～15：30
- 会 場 茅ヶ崎市民文化会館
- 主 催 神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会・リニア中央新幹線建設促進神奈川県期成同盟会・相模線複線化等促進期成同盟会
- 参 加 者 200名
- プログラム 主催者あいさつ 神奈川県県土整備局都市部長 浅羽 義里
同盟会活動紹介 神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会事務局
講 演 東京大学大学院工学系研究科教授 家田 仁 氏

《講演概要》



【神奈川県の広域交通プロジェクトと課題】

中央新幹線が従来の新幹線や鉄道の計画と大きく違う点は、駅付近で横断方向に高速道路とクロスしていることであり、高速道路を通るバスや車に乗ってきて乗り換える乗客を重視したプランニングにしなければならない。高速道路をアクセスに使うコンセプトでいくと、数十キロが駅勢圏となることから、単なる駅ではなく、スーパートランジットハブと同じ感覚で考えるべきである。

中央新幹線ができると、のぞみの運用が中央新幹線に移り、東海道新幹線はこだま・ひかり中心の運用ができるようになる。東海道新幹線が東海道の新幹線に生まれ変わる可能性が極めて高くなり、倉見の駅についても可能性が高まっていくことになる。駅はできたが、駅しかないということではなく、良い地域をつくること、また、駅には電車やバスだけでなく、多くの人は車で動いていることから、それに匹敵できるような駅にできるかなど、色々と考える余地は多い。

沿線で工場や物流施設の立地が進んでいる圏央道の神奈川県にとっての大きな意義は、国際戦略港湾である横浜港につながることであり、国際輸送網の拠点として大きな利点となる。また、放射方向の道路が多い都心では、交通が集中し渋滞を引き起こしているが、環状方向の道路により、都心の渋滞が解消され、事故やCO₂排出を減らす効果が出てくる。さらに、羽田・成田空港へのアクセスも、ダブルルート化されることで、災害や事故など非常時に備えることができる。神奈川県の交通で最も弱いのが空港であるので、空港とどう繋ぐかを念頭に置きながら進めていく必要がある。

中央新幹線と新東名高速道路ができると、首都圏～東海～関西間は鉄道でも道路でも二重のルートとなることで、神奈川県は現在日本で最も恵まれた広域交通インフラを持つエリアとなり、ルート上のエリアの中でも最も平地が多い県中央部は極めて大きなポテンシャルがあると言える。周辺の様々なプロジェクトが進んでいくことによって、現在は単線である相模線のこれからの使い方は大きな考えどころである。東海道線や小田急線などの横軸ができ、相模川の軸線はアイデンティティーが弱くなっているため、相模線と相まって南北軸の発信が必要であろう。神奈川県は自然や文化の魅力に恵まれているが、横浜以外に全国や海外に発信しているものが潜在的に埋もれてしまっているため、ぜひ発信していただきたい。また、自然の修復や防災性の向上も、地域の活性化に忘れてはならない視点である。

【防災の視点に立った広域交通のありかた】

東日本大震災の際は、「くしの歯作戦」ということで、まず東北自動車道が啓開され、その次に沿岸に行けるよう、横の方向の国道などが啓開されて、そこで救援隊が活動することができたが、その際元々の道路の少なさがネックとなったこともあり、その後、三陸地方を縦貫する高速道路の建設が始められている。また、昔は山道・急勾配・急カーブですれ違いも難しかった道路を拡幅したり、カーブを緩くしたりと長年少しずつ工夫してきたことにより、啓開活動が数日のうちに到達できる結果となった。そういった派手ではないが、災害を考慮してミニマムに少しずつ改良していくことは、これからも重要であることが痛感された。

【広域交通ネットワーク整備の思想を振り返る】

広域交通ネットワークは、国政など様々な要因に大に関係している。戦前は、最大の貿易相手国が中国であったことから、高速道路計画は日本海側が重視されていたのに対し、戦後になると相手がアメリカになったことで、太平洋側に向いているものとなった。

このように神奈川県のことを考えるにしても、県内だけでなくもっと広い目、首都圏や全国、海外の大きさで見て、神奈川県的位置付け・ポテンシャルを考える必要がある。神奈川県域の広域交通については、鉄道も当然ながら、圏央道など建設中の道路、そこに港を関係させるような総合的な交通体系を構築するため、エリアも対象物も幅広く考えていくことで、より良い答えが出てくるだろう。



家田 仁 氏 プロフィール

〈専門〉交通学、都市学、国土学

〈経歴〉1978年 東京大学工学部土木工学科卒業、日本国有鉄道入社

1984年 東京大学工学部助手

1986年 東京大学助教授

1995年 東京大学大学院工学系研究科教授 現在に至る

〈主な社会的活動〉

国土交通省社会資本整備審議会委員、同省交通政策審議会鉄道部会会長、神奈川県県土整備局公共事業評価委員会副委員長 など多数

この他、会場では県央・湘南地域の交通ネットワーク整備やツインシティ整備に関する展示を行いました。



県央・湘南都市圏における「環境共生都市づくり事業」を認証しました

神奈川県では、県央・湘南都市圏における環境と共生する都市づくりを推進しています。その取組の一つとして、「県央・湘南都市圏環境共生モデル都市づくり推進要綱」に基づき、環境と共生する取組を実施する事業を、県が「環境共生都市づくり事業」として認証しています。県は認証事業者に対して、認証書と認証マークを交付します。

【環境と共生する都市づくりの目標】

- 1 自然が有する機能・魅力を生かした都市づくり
- 2 環境への負荷を低減する都市づくり
- 3 環境とのバランスのとれた交通計画による都市づくり
- 4 地域アメニティを創出する都市づくり



認証マーク

【認証の基準】

環境共生指標に規定された基準を満たすこと

- ・代表指標
3項目の指標（緑地率、エネルギー削減率、CO₂削減率）について、規定された目標値を満たすこと
- ・個別指標
37項目の指標について、都市づくりの目標ごとに規定された項目数以上の取組を行うこと

平成25年度の認証事業

お問い合わせ先：神奈川県 県土整備局 都市部 環境共生都市課

電話 045-210-6033 FAX 045-210-8879 E-mail fm0715.efp@pref.kanagawa.jp

ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6601/>

環境共生 神奈川県

検索

○藤沢病院整備事業〔認証第9号〕

【事業の概要】医療施設の耐震化を目的として、病棟の建替えを行った。

【事業者】医療法人社団 清心会

【認証年月日】平成25年8月23日

【環境共生の取組】

- ◇ 中庭の整備により、風の通り道を確保し、来院者等がくつろげる空間を提供
- ◇ 古くから植生していた樹木を移植し、地域に馴染み深い木々を植樹
- ◇ 建替棟全体でLED照明を採用
- ◇ 非常用発電機付きガスコージェネレーションシステムの採用
- ◇ 藤沢市と避難施設、津波避難ビルの協定を締結 など

【事業者コメント】

「病院として地域の癒しの空間になればという思いで設計したことが、環境共生都市づくり事業の認証という形で評価され、大変嬉しく思います。」



○有料老人ホーム「ネオ・サミット茅ヶ崎」(住宅型・介護付)整備事業〔認証第12号〕

【事業の概要】高齢者の老後のサポートを目的として、住宅型有料老人ホームを整備した。

【事業者】大和ハウスマイルサポート株式会社

【認証年月日】平成25年11月27日

【環境共生の取組】

- ◇ 建物の外周三方に緑地を整備
- ◇ 屋上に定格出力30kwの太陽光発電パネルを設置
- ◇ 施設利用者向けに近隣商業施設へのシャトルバスを定期運行
- ◇ 屋外から屋上につながる避難用スロープの設置
- ◇ 1日2食3日分×300人分の非常食を備蓄 など

【事業者コメント】

「今回の施設整備では、環境、防災、健康の3点を念頭に置きました。特に茅ヶ崎は自然環境が素晴らしい、その地域特性を活かした取組が評価されたことを大変嬉しく思います。今後とも、地域に対して貢献できるよう取り組んで参ります。」



○学校法人北里研究所MB新棟整備事業〔認証第10号〕

【事業の概要】東日本大震災で被災した、北里大学三陸キャンパス海洋生命科学部校舎機能の一部を相模原キャンパスに移転するために新棟を建設した。

【事業者】学校法人 北里研究所

【認証年月日】平成25年11月5日

【環境共生の取組】

- ◇ 建物周囲にツツジ約360mを新規整備
- ◇ 屋上に建物総電力の10%を賄う太陽光発電設備を設置
- ◇ エントランスホールや各階ロビー等にLED照明を採用
- ◇ 階段室のカーテンウォールにLow-Eガラスを採用
- ◇ 地下埋設カルバートによる無電柱化 など

【事業者コメント】

「環境を守りながら海洋の生物資源の確保と利用法を探り学ぶ」という海洋生命科学部の方針に基づき、地球環境にやさしい施設づくりの取組が評価されたことを大変嬉しく思います。今後もキャンパス整備において環境配慮に取り組んで参ります。」



○SMA×ECO CITY 相模原 光が丘エコタウン整備事業〔認証第13号〕

【事業の概要】再生可能エネルギーの利用拡大と環境に配慮した住環境の創造を目的に、戸建住宅と商業施設が一体となったスマートコミュニティを開発する。

【事業者】大和ハウス工業株式会社

【認証年月日】平成25年12月26日

【環境共生の取組】

- ◇ ヒートアイランド現象の抑制を考慮した緑地の整備
- ◇ 全ての住宅で、LED照明・高効率給湯器を採用
- ◇ HEMS/BEMSを導入し、過剰なエネルギー使用を抑制
- ◇ 景観協定や「街並みガイドライン」の策定
- ◇ 災害時にも機能するエネルギー自立システムの構築 など

【事業者コメント】

「本事業は、当社初の住・商一体型のスマートコミュニティとして、街ごと見える化等、環境共生に向けた様々な取組を行っております。また、地域の皆様が利用できる公園や集会所を整備することで、地域住民の皆様との共生も図っております。このような取組を、神奈川県初の複合的まちづくり事業として認証していただき、大変嬉しく思います。」



○けやきの森病院新病棟整備事業〔認証第11号〕

【事業の概要】医療施設の療養環境整備を目的として、病棟の増築を行った。

【事業者】医療法人社団 朋友会

【認証年月日】平成25年11月27日

【環境共生の取組】

- ◇ けやきの大木群をはじめとした既存樹木の保存
- ◇ 植物・動物の生育生息空間の保全
- ◇ 自然換気、自然採光を採り入れる建具を採用
- ◇ LEDなど高効率の照明器具を採用
- ◇ 人感センサーの導入（倉庫・トイレ等）など

【事業者コメント】

「当院は、心の癒しを施す病院です。心の癒しは人と医療だけでなく、環境が大事です。今後も、樹齢200年を超える大きなけやきの木たちの力を借りながら、心の癒しを必要とされる方々への医療を続けて参りたいと思います。」



○Fujisawaサスティナブル・スマートタウン整備事業〔認証第14号〕

【事業の概要】地域の都市構造の強化に貢献する公共施設と多様な機能を持つ土地利用への転換を誘導する宅地を整備し、環境負荷の少ない持続可能な市街地形成を図る。

【事業者】パナソニック株式会社、パナホーム株式会社、三井不動産レジデンシャル株式会社

【認証年月日】平成25年12月26日

【環境共生の取組】

- ◇ “緑の軸”と“風の道”の創出
- ◇ CO₂排出量±0仕様
- ◇ 創エネ・蓄エネ・省エネ・節水設備の導入
- ◇ EVカーシェアリング等のモビリティ・サービスを提供
- ◇ タウンマネジメント会社による持続的な取組 など

【事業者コメント】

「本事業は、“エコで快適”、“安心・安全”なくらしが持続する街を目指し、商業・福祉・健康・教育施設が一体となったまちづくりを進めるものです。こうした取組が、複合的なまちづくり事業として初の環境共生認証を受けたことを、大変光栄に思います。今後とも“神奈川県環境共生のモデル事業”として、取組を進めて参ります。」



平成25年度「夢はこぼ新幹線・私たちの未来のまち」絵画コンクール

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会では、新幹線新駅の誘致について、より幅広く浸透を図るため、ツインシティの地元である平塚市・寒川町の小学生を対象に、絵画コンクールを実施しています。平成25年度は「夢はこぼ新幹線・私たちの未来のまち」をテーマとして実施し、29校715作品の応募がありました。

応募作品の中から、入賞作品12点を表彰しましたので、ご紹介します。(県知事賞は表紙で紹介)

平塚市長賞



低学年の部 大野 響さん
(平塚市立土屋小学校1年)



中学年の部 武藤 広透さん
(平塚市立吉沢小学校3年)



高学年の部 桑原 耕さん
(平塚市立松原小学校5年)

寒川町長賞



低学年の部 宇田川 航基さん
(寒川町立旭小学校2年)



中学年の部 竹内 聖斗さん
(寒川町立旭小学校3年)



高学年の部 植木 拓海さん
(寒川町立寒川小学校6年)

ツインシティ賞



低学年の部 青柳 怜空さん
(寒川町立南小学校1年)



中学年の部 吉田 康兵さん
(寒川町立南小学校3年)



高学年の部 田中 謙信さん
(寒川町立旭小学校6年)

展示会・表彰式

応募作品の展示会・入賞者の表彰式を行いました。

平塚市美術館 (H25.11.1~4)

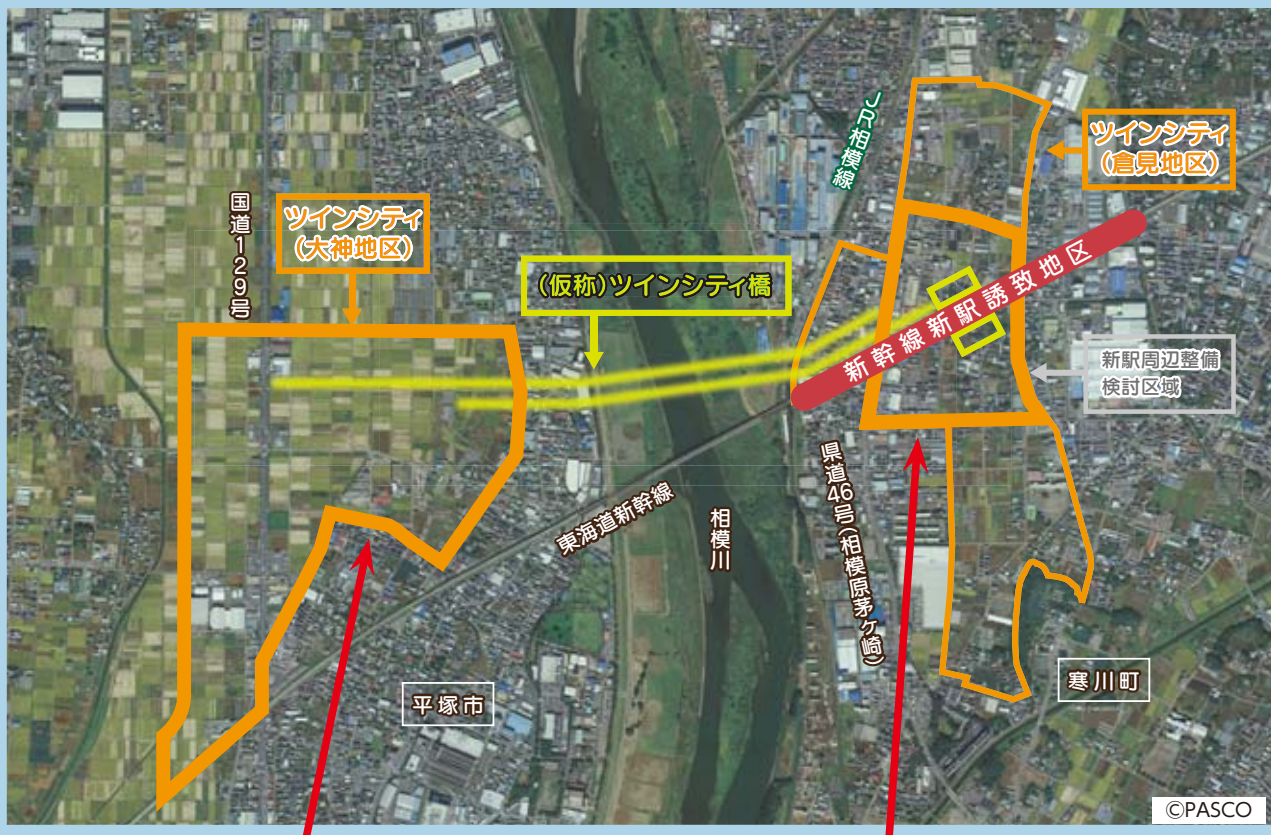
寒川町民センター (H25.11.20~27)



ツインシティの魅力あるまちづくりに取り組んでいます

「ツインシティ」は、東海道新幹線新駅の誘致に取り組んでいる「寒川町倉見地区」と、相模川対岸の「平塚市大神地区」からなる新たな双子のまちのことで、両地区を新たな橋「(仮称) ツインシティ橋」でつなぐことにより、一体的なまちづくりをめざしています。

東海道新幹線の列車ダイヤが過密であるため、新駅の設置には、リニア中央新幹線の実現により、列車ダイヤに余裕が生まれることが必要です。新駅の実現に不可欠なリニア中央新幹線については、事業者であるJR東海により、平成25年9月に環境影響評価準備書が公表され、詳細なルートや駅位置、車両基地などの主な施設が明らかになり、早期開業に向けて手続きが着実に進められていますので、新駅にふさわしい「ツインシティ」の魅力あるまちづくりを進めることで、新駅実現をめざし取り組んでまいります。



ツインシティ大神地区

平塚市大神地区では、平成26年2月に都市計画決定・変更案の説明会や法定縦覧が行われ、都市計画手続きが進められています。また、環境影響評価の手続きについても、予測評価書案の縦覧や説明会が行われたところです。

さらに、組合施行の土地区画整理事業を進めるため、組合設立準備会により、組合設立認可に向けた取組が進められています。

ツインシティ倉見地区

寒川町倉見地区では、(仮称) ツインシティ橋や県道46号(相模原茅ヶ崎)などの道路事業に関する都市計画素案の閲覧が行われた後、平成26年1月には公聴会が開催され、地域の皆さまのご意見をお聴きしたところです。

今後は、都市計画案の法定縦覧に向けて、手続きが進められる予定です。

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会について

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会(平成8年5月発足)では、寒川町倉見地区への東海道新幹線新駅の誘致活動を行っています。同盟会を構成する県市町の窓口は、次のとおりです。

県・市町担当窓口		厚木市	政策部企画政策課	046-223-1511(代)
神奈川県	県土整備局都市部環境共生都市課	伊勢原市	都市部都市総務課	0463-94-4711(代)
相模原市	都市建設局まちづくり計画部交通政策課	海老名市	まちづくり部駅周辺対策課	046-231-2111(代)
平塚市	都市整備部都市整備課	座間市	都市部都市計画課	046-255-1111(代)
藤沢市	計画建築部都市計画課	綾瀬市	経営企画部政策経営課	0467-77-1111(代)
茅ヶ崎市	都市部都市政策課	寒川町	拠点づくり部倉見拠点づくり課	0467-74-1111(代)

お問い合わせ先：神奈川県 県土整備局 都市部 環境共生都市課

電話045-210-6038 FAX045-210-8879 E-mail (下記ホームページの「問合せ先」をクリックして「問合せフォーム」をご利用ください)

詳細については、期成同盟会のホームページをご覧ください。
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p19860.html>

新幹線新駅同盟会

検索